

ひまわりクリニックきょうごく

ひまわり便り

Vol.59

5月10日より、高齢者の新型コロナウイルスのワクチンの接種が始まり、ワクチン接種の翌日から、ワクチンを打った方の腕が痛いという声もよく聞こえてくるようになりました。こういった症状は、ワクチンの副反応であり、新型コロナウイルスのワクチンだけではなく、どのワクチンでも出る症状と言えます。

新型コロナワクチンの副反応の種類は？

主に新型コロナウイルスワクチンの接種で起こる副反応は以下のとおりです。

接種部位

痛み・赤み・腫れ

からだの症状

頭痛・倦怠感・疲労感
関節痛・筋肉痛
下痢・悪寒・動悸
発熱・吐き気



副反応の割合	症状
50%以上	接種部位の痛み 疲労、頭痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、 関節痛 下痢、発熱
1~10%	接種部位の腫れ 吐き気、嘔吐

(厚生労働省 新型コロナワクチン Q&A より)

新型コロナワクチンの接種をすると、上記のような副反応が起こることが多く、接種の翌日にピークを迎え、数日以内に回復します。また、接種後、極めてまれにショック症状やアナフィラキシー症状があらわれる場合がありますが、その場合は接種会場で医療スタッフがすぐに対応いたします。

副反応はどんな人に出やすい？

接種部位の痛みに関しては個人差はありますが接種者の多くが経験する症状です。また、新型コロナワクチンの副反応は、1回目の接種後よりも2回目の接種後の方が副反応が出やすく、高齢者よりも若年者の方が症状が出やすく、性別で言うと、男性よりも女性の方が出やすいという結果が出ています。

副反応が出てしまったら？

新型コロナワクチンの接種当日は何でもなくても、翌日以降に強く副反応が出る事が多くあります。副反応は時間が経つにつれ、回復に向かいますので大概の症状は様子を見ていれば治まりますが、熱がなかなか下がらない、接種部位が腫れてどうしようもないなど、回復がみられない場合はクリニックまでご相談下さい。

6月の診療受付時間につきまして

毎週月・火・水曜日の午後の診察は新型コロナウイルスワクチン接種業務のため、休診とさせていただきます。

0136-42-2161
ひまわりクリニックきょうごく

